

阪神・淡路大震災 30年連続シンポジウム vol.02

創造的復興は成し遂げられたか

— 震災復興における建築家と職能団体の役割を考える —

2025年1月19日(日) 13:30~16:45

会場：芦屋市民センター別館（芦屋市公民館）218室（兵庫県芦屋市業平町8-24）



趣旨

1995年1月17日5時46分、明石海峡を震源とするマグニチュード7.3の兵庫県南部地震が発生、6,434人に達する尊い命が犠牲になり、神戸・西宮・芦屋をはじめとする現代の都市においても甚大な被害をもたらす大震災となった。

阪神・淡路大震災は、建築家たちが被災地域の住民に寄り添った生活再建等復興に向けた活動に取り組む初めての機会となり、その背景では震災前の平時における地元と専門家たちのネットワークの存在が復興に寄与したことが確認されている。また、災害復興に際しては、こうした地域の日常の暮らしの中で培われた文化や景観を継承していく視点も重要である。

2025年は阪神・淡路大震災の発生から30年を迎え、また2024年1月1日に発生した能登半島地震の被災地においても復興が本格化する時期にあたる。こうした時期にあって、本企画は、阪神・淡路大震災の発災直後から復興過程における専門家の関わりを振り返り、南海トラフ巨大地震等広範囲にわたる同時多発的な災害に備える建築家をはじめとする専門家と市民との協働の活動に向けたきっかけとしたい。

2回目のシンポジウムでは、東日本、熊本、能登半島など阪神・淡路大震災以降の経験も踏まえて、将来の震災に備えた建築やまちのあり方、復興過程における建築家や職能団体の果たすべき役割についての提言につなげる機会とする。

パネリスト

小浦 久子

奈良文化財研究所

津久井 進

弁護士・芦屋西宮市民法律事務所

鈴木 弘二

建築家・JIA東北支部/鈴木弘人設計事務所

水野 敦

建築家・JIA北陸支部/水野建築研究所

原田 展幸

建築家・JIA九州支部/ライフジャム一級建築士事務所

所 千夏

建築家・JIA近畿支部/アトリエCK

主催：公益社団法人 日本建築家協会(JIA) 近畿支部 兵庫地域会+災害対策委員会+都市デザイン研究会

プログラム

13:30～13:40

挨拶・趣旨説明・第1回の振り返り

13:45～15:15

各パネリストによる震災の復興事例・活動の紹介

小浦 久子「震災からの復興と景観」 津久井 進「災害復興、生活再建に向けた支援と法制度」

鈴木 弘二「東日本大震災にかかるJIA東北支部の活動」 水野 敦「令和6年能登半島地震にかかるJIA北陸支部の活動」

原田 展幸「平成28年熊本地震にかかるJIA九州支部の活動」 所 千夏「建築家の4つの心得、エリアアーキテクト構想」

15:20～

パネルディスカッション

パネリスト

小浦 久子

奈良文化財研究所

大阪大学人間科学部卒業、神戸芸術工科大学教授を経て2024年より奈良文化財研究所客員研究員。芦屋市景観アドバイザーを長く務めた。「市街地変容と景観の地域性の保全創出に関する研究」にて日本建築学会賞（論文）。著書に『失われた風景を求めて―災害と復興、そして景観』『まとまりの景観デザイン―形の規制誘導から関係性の作法へ』等。

鈴木 弘二

建築家・鈴木弘人設計事務所/JIA東北支部

1961年生まれ、日本大学大学院建築学修士課程修了、鈴木弘人設計事務所入社、2005年より同社代表。2012～14年JIA宮城地域会会長、2015～19年JIA副会長・東北支部支部長を務める。東日本大震災における復興支援活動に携わり、山元町・野蒜ヶ丘・岩沼市玉浦西地区の災害公営住宅の設計を手がける。

原田 展幸

建築家・ライフジャム一級建築士事務所/JIA九州支部

1973年生まれ、熊本工業大学建築学科卒業、田中建築設計事務所を経て、2004年ライフジャム設立。熊本地震における地域復興支援活動に携わり、益城町・御船町・南阿蘇村等の買取型災害公営住宅の設計を手がける。熊本若手建築家グループ「kulos」を主宰、建築啓蒙活動・ワークショップ等に取り組む。

津久井 進

弁護士・芦屋西宮市民法律事務所

1968年生まれ、神戸大学法学部卒業、2002年芦屋西宮市民法律事務所設立。兵庫県弁護士会・会長（令和3年度）。阪神・淡路大震災を皮切りに、各地の災害復興支援に携わる。著書に『Q&A被災者生活再建支援法』、『大災害と法』、『災害ケースマネジメント◎ガイドブック』等。

水野 敦

建築家・水野建築研究所/JIA北陸支部

1966年生まれ、福井大学大学院工学研究科建築学専攻修了、昭和設計を経て、2002年水野建築研究所設立。2019～23年JIA富山地域会地域会長、2022年よりJIA災害対策会議議長。令和6年能登半島地震における復興支援活動に携わり、現地より全国に向けた情報発信に取り組む。

所 千夏

建築家・アトリエCK/JIA近畿支部

京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了、安井建築設計事務所を経て、2004年アトリエCK設立。2016～19年JIA本部理事。国土交通省社会資本整備審議会建築制度部会専門委員、JIA環境会議委員を務め、UIA MANIFESTO RELAY COPENHAGEN 2023に参加。

日時

2025年1月19日（日）

13:30～16:45（開場：13:00）

開催方法

会場対面（定員50名）+ZOOM

ウェビナーによるリモート（定員500名）

会場

芦屋市民センター別館（公民館）218室

（兵庫県芦屋市平野町8-24）

阪急「芦屋川」駅から南へ徒歩7分、

JR「芦屋」駅南出口から西へ徒歩7分、阪神「芦屋」駅から北へ徒歩8分

市民センター本館入口より入館後、渡り廊下にて218室まで移動ください。



参加費

無料

申込方法

以下のGoogleフォームを通じて申込をお願いいたします。

<https://forms.gle/RiZ79RUDFqXXwx2w6>



リモート参加申込者の方々には事前にURLをお送りいたします。

申込締切は、2025年1月15日（水）中とします。

問合せ：JIA 近畿支部事務局/担当：穴井宏樹

E-mail : jia@bc.wakwak.com

主催：（公社）日本建築家協会（JIA）近畿支部 兵庫地域会+災害対策委員会+都市デザイン研究会

後援：（公社）兵庫県建築士会、（公社）大阪府建築士会、（一社）大阪府建築士事務所協会、（一社）日本建築協会

問合先：（公社）日本建築家協会近畿支部 〒540-0051 大阪市中央区備後町2-5-8綿業会館4階 T:06-6229-3371 F:06-6229-3374